

松名瀬干潟での科学技術部の調査

三重中学校2年 小崎梨子
齋藤綾太

私たちの所属する科学技術部について

主な活動

- まつなせひがた
・松名瀬干潟での月1回の生物相調査
- ・学会などでの発表
- ・森林についての活動
- かんきょうきょうい
・環境教育



日本環境教育学会での発表



小学生への環境学習



森林についての活動

この壁新聞では、
この調査について
説明します。

そもそも干潟とは…

約6時間おきの潮の満ち引きに
よって水面から出たり水面下に
隠れたりする砂泥地のこと



引いているとき



満ちているとき

私たちが活動の拠点としている松名瀬干潟

松阪市の櫛田川の河口に位置する、
潟湖干潟、河口干潟、前浜干潟の
3つの干潟がそろっている、全国的にも珍しい干潟。



写真:
国土交通省中部地方整備局

潟湖干潟

干潟の特徴
海から完全に分けられた干潟。
干潟に行った感想
ドロドロしている。
見られる生物の例
アシハラガニ、ヤマトオサガニ、カワアイ、
オキシジミ、ヒラドカワザンショウ



アシハラガニ



(準絶滅危惧種)
カワアイ

河口干潟

干潟の特徴
河口に砂や泥がたまった干潟。地形が変わりやすい。
干潟に行った感想
見られる生物の例
ハクセンシオマネキ、ハマガニ、オカミミガイ、
クチバガイ、ソトリガイ、ヤドカリ、ニホンスナモグリ



ハクセンシオマネキ
(絶滅危惧Ⅱ類)



オカミミガイ
(絶滅危惧Ⅱ類)

前浜干潟

干潟の特徴
海に面している干潟。潮の満ち引きが激しい。
干潟に行った感想
見られる生物の例
マメコブシガニ、アラムシロ、ヨウジウオ、アサリ、
ホトギスガイ、ネズミボヤ、カガミガイ



アサリ



ヨウジウオ

多様な環境があるからこそ、多様な生物が生息している。

多様…ここでは、たくさんの種類の生物がいたり、いろいろな環境があること。

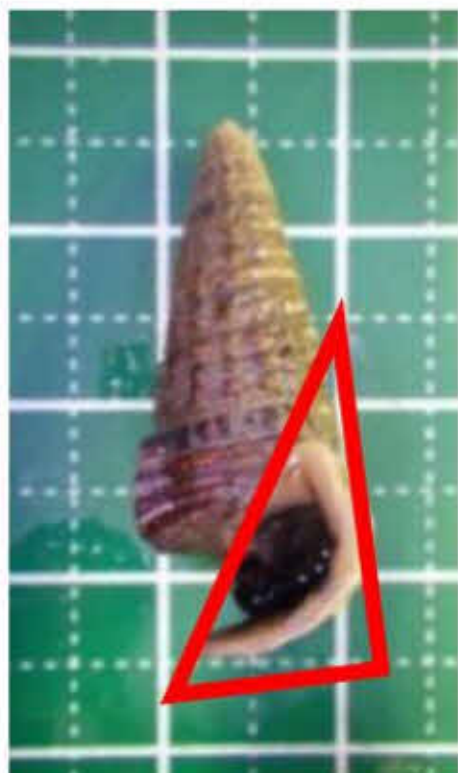
主に調査対象としているウミナ四種

フトヘナタリ



殻の口が丸い

ヘナタリ



殻の口が三角形

ウミナ



ホソウミナ以外は準絶滅危惧種に指定されている

ホソウミナ



白い層がない

白い層がある

調査のきっかけ

2010年 三重大学 木村妙子教授らが
行っている環境省の調査に参加

何度も参加し海に行くと、
見かける生物の種類が
違うことが判明

毎月1回、松名瀬干潟へ調査へ行くことに
さらに
・地元にあるから行きやすい、
・中高生でも調査ができる！
といったこともあり、継続して行っている

今年で11年目になる調査！

写真・引用文献
三重県地方農政局農水商工部。『三重県 | 漁港・漁場:松名瀬北』。三重県。2021-04-09。
https://www.pref.mie.lg.jp/TNORIN/HP/37044031729.htm, (参照2022-01-14)
安永洋子・富山清升・井上康介・国村真希・田上英憲 2019.鹿児島県喜入町と市来町の干潟における
ウミナBatillaria multiformis のサイズ頻度分布の季節変化と生活史比較 Nature of Kgaoshima Vol.45.p109-115.
波部忠重.1955.カワアイとフトヘナタリの産卵.貝類学雑誌18(3).p204-205.

調査の方法

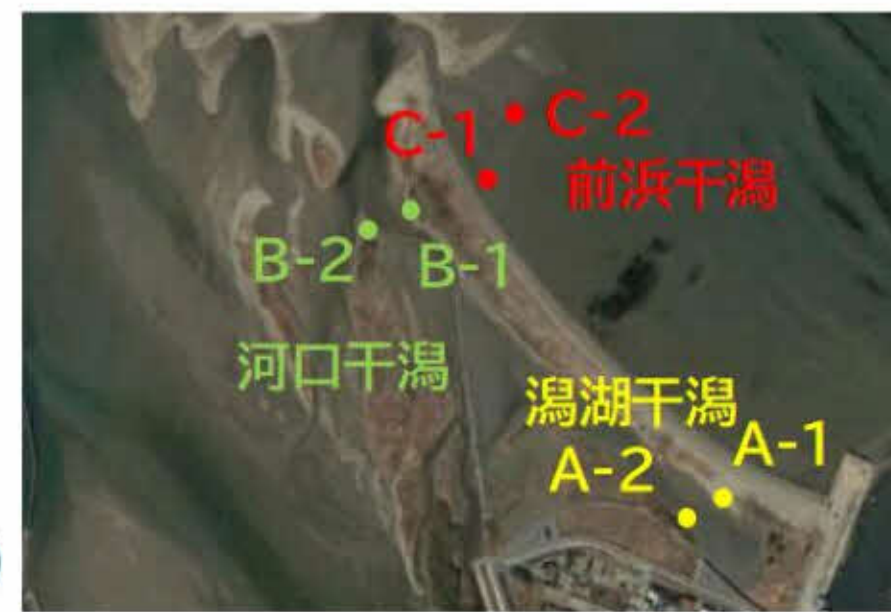
各干潟に環境の違う
2地点を設置(計6地点)

方形枠内の地表にいる
生物を採集



生物の種類、数、大きさなどを記録

松名瀬干潟
(google earthより)



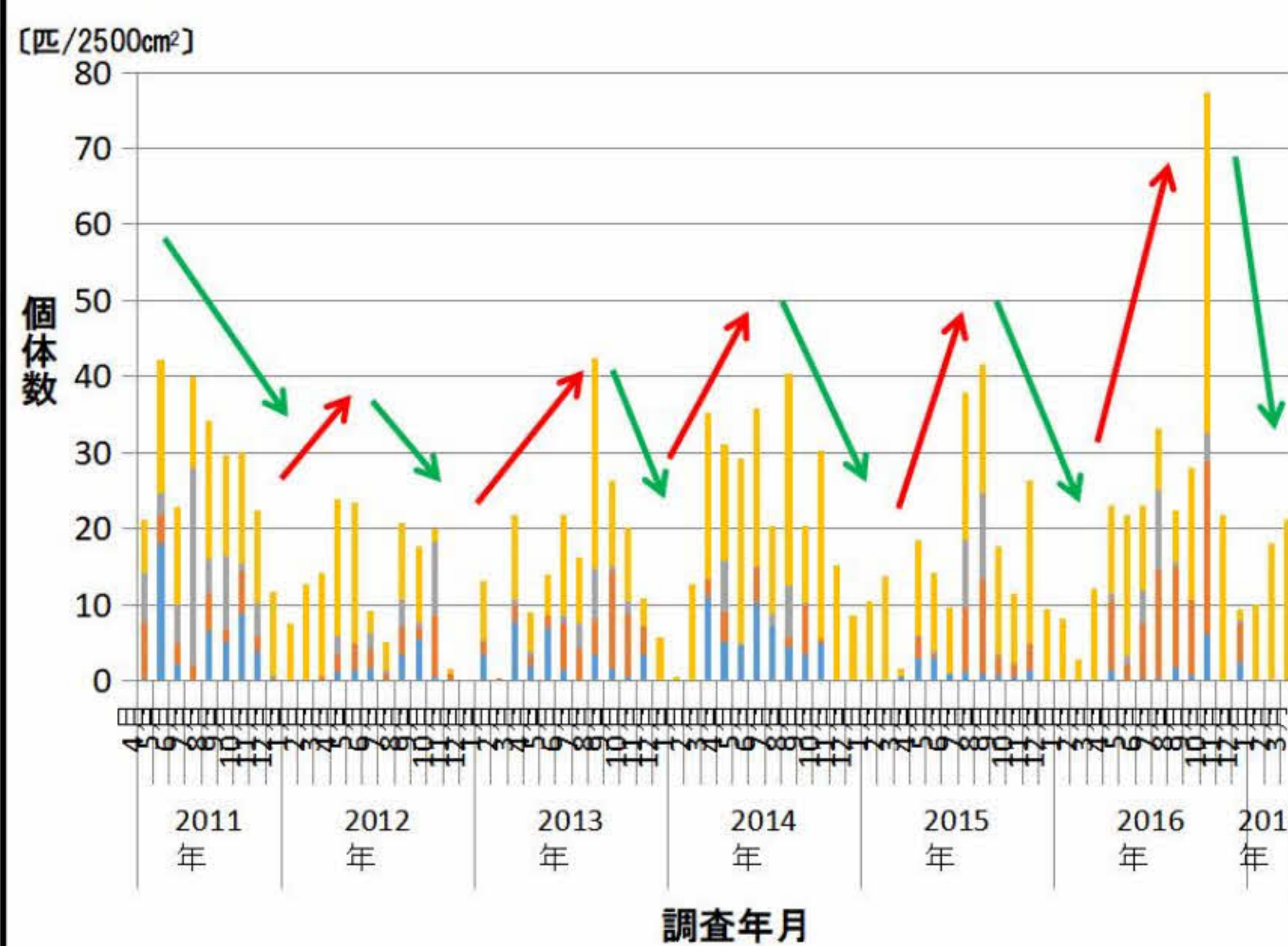
各地点ごとに50cm×50cmの
ほうけいわく
方形枠を5個ずつ設置

方形枠

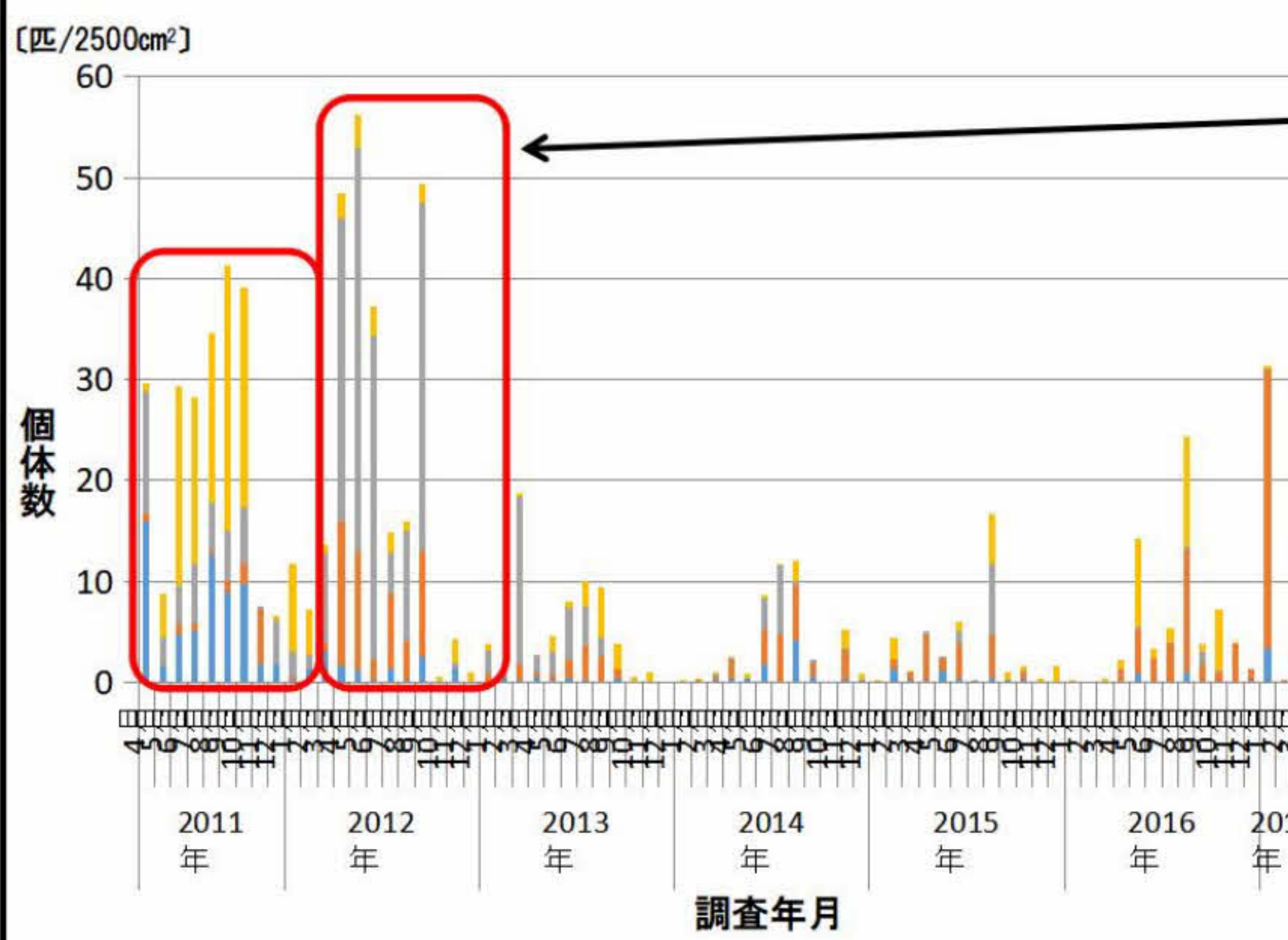
枠内の直径15cm深さ20cmの
さいでい
砂泥を2mmメッシュのふるいに
かけて地中にある生物を採集



長年の調査の結果



潟湖干潟潮間帯上部表におけるウミナ類の月ごとの個体数



潟湖干潟潮間帯下部表におけるウミナ類の月ごとの個体数

夏にかけて増えて、
冬にかけて減っている。
冬に死んでいるのかも？
しかし、
春にも大きい個体を見かける
産卵は初夏に行われるため、
(波部・1955)
冬に死んでいるとは考えづらい
冬に調査区域外に移動して、
春に戻ってくるのかも？
ウミナ類の季節による
移動の変化を調べるため、
学校で実験

2012年2月頃から
フトヘナタリ、ウミナは
減少しているが、
ヘナタリ、ホソウミナは
増加している。
調べると、
近くで護岸工事を
していたことが分かった
工事の影響はアシ原の減少のみ
フトヘナタリはアシ原に多く分布
(安永ら・2019)
→フトヘナタリが減少した原因と
考えられる
他の種は好む環境はまだ分からず
種の違いが分布に影響するのか
学校で干潟を再現して実験

まとめ

この壁新聞では、科学技術部の松名瀬干潟での調査について
紹介しました。松名瀬干潟は紹介した通り、多様な環境があるから
こそ、多様な生物がいます。

科学技術部ではこのような活動をしているんだということを知って
いただき、そこからもっと松名瀬干潟について知っていただけたら
うれしいです。



科学技術部マスコットキャラクター
ウミナ君

科学技術部、そして
松名瀬干潟のことをもっと
知ってください！



松名瀬干潟

こどもエコクラブ壁新聞 (2021年度) (模造紙サイズ用)	クラブ(団体・グループ)所在地 三重 都道府県 松阪 市区町村
クラブ(団体・グループ)名 三重中学校・高等学校 科学技術部	(2021年度 応募作品) □幼児クラブの審査を希望